



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

「協働のまちづくり」説明会



住民自治強化の地域社会へ 市、財源一部委譲など方向示す

住民と行政が協力しあって町づくりを進めようという草津市の「協働のまちづくり」に関する自治連、各種団体対象の説明会が9月22日、志津南市民センター(公民館)で開かれました。

「協働のまちづくり」は、地方分権が本格化する時代を迎え、行政システムを改革しようとい

つもので、この日はその改革行動指針の柱の一つである「協働システム構築のための地域づくり」について、大阪・堺市や茨城・石岡市などの先進5町内会の事例を紹介しながら、市まちづくり課が説明しました。

市が平成16年12月に策定した「市民と行政との協働によるまちづくりの展開」は、現在、市が行っている住民サービスの一部にかかる権限

と財源を地域に委譲した地域住民による自治「協働のまちづくり」を目標に掲げています。これは、分権化が進んでいく社会にあつては、地域を愛し地域のことを最もよく知っている住民の知識や経験、その持っている情報や行動力を活かし、地域の課題を自ら解決していくことが望ましいとするものです。

そのためには、市民センターを核とした地域自治の機能強化、地域協議会等の地域自治組織の検討が欠かせないといえます。

志津南地区ではこれまで県や市の助成を受け「町づくり委員

敬老会に百十一人出席 人形浄瑠璃や合唱楽しむ



人形浄瑠璃を楽しむお年寄りたち

志津南地区敬老会(同社会福祉協議会主催)が9月17日、志津南市民センター(公民館)で行われ、70歳以上のお年寄

り111人が出席、地域ぐるみで長寿を祝いました。

上田恒章社協会長のあいさつに続き、来賓の伊庭嘉兵衛草津市長が祝辞を述べました。

昼食のあと、午後からはアトラクション。若草くるみ保育園児26人がかわいらしい歌と踊りを披露、また志津南小学校6年生15人が奏でるリコーダーの演奏に合わせて「ふるさと」をみんなで合唱しましたが、心にしみる音色と歌声は会場をやさしく包み込みました。

このほか、特設ステージで長浜の共遊団が180年受け継い

じた新たな地域コミュニティ組織、市民センターとの関係強化、自治会、社協等各種団体を包含した安定した「協働のまちづくり組織」が必要となってきます。

(自治連)

できた人形浄瑠璃を上演、人形が演じる細やかな動きと人形を操る黒子のたくみな技に参加者の目はくぎづけ。

(社会福祉協議会)

特別カラー印刷

今月号は全ページカラー印刷でお届けします。機器メーカーのPRデモンストレーションの機会を利用したもので、今月号だけの特別印刷です。11月号からはこれまで通りのモノクロ印刷となります。

秋とは思えない厳しい曇りが残る中、志津南小、高穂中、若草くるみ保育園でそれぞれ運動会が行われ、児童生徒、園児らが走り集団演技に力いっぱい躍動しました。

南小で「わくわく運動会」 リレー、団体演技に感動残す

暑さ吹き飛ばし躍動



玉入れ競技 (志津南小)

競技は5年生の100m走を皮切りに、リレー、玉入れ、借り物競争と続き、エイサー太鼓では会場から拍手子も。個性豊かに表現し、みんなでまとめ上げた団体演技が繰り広げられました。

秋晴れの9月15日、志津南小学校で児童達が各つけた「南っ子わくわく運動会」が行われました。

「南っ子が一つとなって感動の運動会をつくり出そう」のスローガンのもとに、生徒代表が「今日までがんばってきた力を出し合って思い出に残る運動会にしよう」と元気よく呼びかけました。

また縦わりの種目では、8色のカラフルなたてわり班の応援旗が風になびく中、紅白対抗に盛んな声援を送っていました。午後には地域の高齢者、父兄と一緒に大きな輪となった江州音頭。6年生にとっては最後の演技に一段と大きな拍手が沸き起こっていました。

第22回若草くるみ保育園運動会が10月6日、志津南小学

練習成果存分に発揮 くるみ保育園でも100人



年長組のマスゲーム (志津南小体育館)

校体育館で行われ、保護者に伴われた園児約100人が参加、

元気いっぱい競技しました。今年のテーマは「ななかま、一人ひとりが輝く瞬間(とき)」。年長組のじ組全員が声をそろえて元気いっぱい宣誓でスタートしました。かけっこ、親子遊戯、玉入れ、それにお父さん、お母さんも参加しての競技には大きな声援が送られ、保護者らがビデオやカメラにおさめていました。中でもにじ組の鉄棒、マット、跳び箱でみんなが成功させると割ればかりの拍手が起こりました。

応援合戦に火花散らす

高穂中、思い出飾る体育祭



団旗に囲まれ選手宣誓 (高穂中)

心配された天候も生徒たちの熱気が吹き飛ばした9月14日、高穂中学校で第24回体育祭が行われました。「六連の輝き！光れ青春の星」のテーマのもと、生徒会長の「青春の想いでの一ページを飾ろう」と呼びかけ、体育祭の幕を開けました。会場全体が見守る中、5人のランナーが聖火

を手に入場し聖火台に点火したあと、緑、青、オレンジ、黄、赤、紫の団6団の応援旗に囲まれての選手宣誓で競技がスタートしました。

1年女子の100m走が始まると、タイコ、大きな長いメガホンが「イケイケ、オセオセ、モエロモエロ」と声を張り上げ目の前を走り抜けるチームメイトを応援していました。

午後には秋空が広がり、恒例の一年生による見事な集団演技「十字法太極拳」が披露されたほか、6団の華やかな応援合戦が体育祭をいっそう盛り上げていました。

27日に親子ハイキング

志津南地区地域協働会が推進委員会は10月27日(土)、

「親子ふれあいハイキング」を開催します。

市民センターから桐生キャンパスまでの往復約6kmを歩きます。

お昼はみんなでバーベキューを楽しみます。詳細は次の通り。

集合 9時15分(市民センター)

参加費 小学生五百円

中学生以上千円

小学生未満無料

10月20日(土)までに市民センターに申し込んでください。

パソコン講座募集

志津南市民センター(公民館)がパソコン講座の受講生を募集しています。

【ワードでチラシ・ポスターをつくらう！】

11月7日(水)、9日(金)、

14日(水)午後7時~9時

対象:ワード初級、

受講料:千二百円

締め切り 10月31日(水)

こよみ

- 10月20日(土) くるみ保育園秋まつり 10:00~15:00
- 10月25日(木) 教養文化講座「ENJOY MY LIFE コケだまづくり」 9:30~11:30
- 10月27日(土) 「親子ふれあいハイキング」 9:15~15:30 地域協働合校若寿会：社会奉仕活動 8:45 若草中央公園集合
- 10月30日(火) 教養文化講座「ENJOY MY LIFE おしばな」 10:00~12:00
- 11月2日(金) 定例健康相談 10:00~12:00 市健康づくり支援課
- 11月3日(祝) 第5回琵琶湖一周ウォーキング「守山~近江八幡」 7:40 JR南草津駅集合
- 11月7日(水) 教養文化講座『古今東西』 9:00~12:00 パソコン講座「チラシをつくらう」 19:00~21:00
- 11月8日(木) 教養文化講座「ENJOY MY LIFE おしばな」 10:00~12:00
- 11月9日(金) 離乳食レストラン 9:30~12:00 パソコン講座「チラシをつくらう」 19:00~21:00
- 11月10日(土) 「昔のびわ湖に出会いに行こう! (化石ほり)」 9:00~13:00わんぱく南っ子
- 11月11日(日) 平和祈念講演会 10:00~11:30 社会福祉協議会
- 11月14日(水) パソコン講座「チラシをつくらう」 19:00~21:00

若寿会：健康ウォーキングは毎月第1・第3土曜日 8:45 若草中央公園集合

地域サロン：懐メロを歌う会は毎月第2・第4火曜日 10:00~11:30 市民センター

印の会場は志津南市民センター(公民館)です。

スポーツまつりに400人

岡本西が優勝、2位に若草2



大縄跳びで奮闘する若草2チーム

第3回志津南スポーツまつり(志津南地区体育振興会主催)が9月30日、志津南小体育館で行われ、約400人が参加、熱戦を展開しました。

「スポーツまつり」と名を改

めて今回が3回目。運営上の問題もあって今年再び志津南小に会場を移って行われました。当日は未明から雨となったため、準備を終えていたグラウンドから体育館へ会場を急ぎ変更。収容人数の制約もあり心配されましたが、競技が始まると「予定通り出来る」と確信できました。

体育館となったため種目を変更した「大縄跳び」では、若草2丁目が百回を超える大奮闘。競技が終わると全員が床に倒れこむほどで、会場には奮闘ぶりをたたえる大声援が響きわたりました。

狭い体育館での競技となりま

したが、狭いながらも多くの住民が一体となって盛り上がり、楽しい雰囲気になりました。事故もなく体育振興会の大きな大会を無事終えることが出来ました。ご協力を頂きました自治連合会はじめ皆様に厚くお礼を申し上げます。

町内対抗の成績は次の通りです。	優勝 岡本町西
	準優勝 若草2丁目
	3位 若草6丁目
	若草7丁目
	(体育振興会)

南小児童が交通安全訴え

バス停でアンパン配る



メッセージを手渡す児童

秋の全国交通安全運動期間中の9月28日、草津署や交通安全協会、民生児童委員、市民センター職員らとともに、ジュニアポリスの制服に身を包んだ志津南小の3年児童29人が若草中央バス停付近で通りかかる車に事故防止を呼びかけました。

児童たちはそれぞれ「信号

を守り、私たちが安心して横断歩道を渡れるように」と、や飲酒運転防止、運転中の携帯電話防止など、交通安全への思いを託したメッセージを添えて草津・乗東交通安全協会志津南支部が用意したアンパンマンシールを貼ったアンパン入りのビニール袋を草津署員の誘導する車のドライバーに手渡ししながら「安全運転に心がけてください」と訴えていました。

公民館に交通安全ポスター展示

志津南小の児童が夏休みの宿題に描いた交通安全啓発ポスターの最優秀作品などが志津南市民センター(公民館)ロビーに展示されました。

志津南地区安全会が募集した

最優秀作品



もので、寄せられた83点の作品を9月16日に審査した結果、最優秀賞に同小2年の高瀬雅之君(岡本町)の作品が選ばれたほか、会長賞1人、優秀賞12人が選ばれました。

高瀬君の作品は、自転車でも交差点ではいったん停止、前後左右をよく見て確認するように訴えたもので、優秀作をはじめ全作品が秋の交通安全運動期間中の9月16日から23日まで同センターに展示しました。

センターを訪れた住民らは子どもたちの交通安全に対する意識の高さに感心していました。

(交通防犯部)

「ハープあれこれ」は休みます。



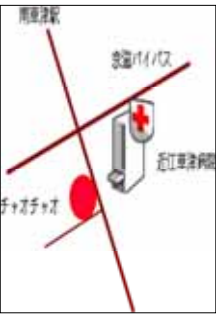
こんな所に、と思う住宅地の一角にある間口二間ほどの小さな店。民家を改造した30坪ほどの縦長の店内には、テレビやビデオなどの電気製品、小型家具、日用雑貨、アクセサリーなど約2千点が所狭しと並ぶ。

高まる認知度 リサイクル ショップ チャオチャオ



「それが一番困るところなんです」とシヨップ代表の輪木孝博さん(40)は嘆く。しかし、店内の商品を見てみると、そんな気取りよりも必要なものがあれば「ここで買えばおトク」という気がしてくる。

使い捨てが反省される昨今、家で眠っている新品の食器や十分使える家具、電気製品をこうしたルートを通して再利用すれば、資源の節約、環境保全にもつながる。



場所 東矢倉3丁目37-9
営業 9時30分～19時
定休 第1、第3火曜日
電話 (567) 8870
駐車 店舗裏側にあり

「マンションのオーナーが学生を引き連れて来店したこともある。リサイクルへの認知が高まり、世の中の役に立っている」。輪木さんは確かな手ごたえを感じている。

ば、資源の節約、環境保全にもつながる。平成14年にオープンして6年目になるこの店でも、当初は恐る恐るのぞき見していた人が多かつたが、これまでの生活を直す風潮が強まる中で「警戒感も以前ほどではなくなり、利用する人は徐々に増えている。店頭販売は横ばいでモイスター

たが、それがこやしになった」と振り返る一方で「相場」を知るために量販店や家具、雑貨店などの偵察も怠らない。

この世界も大手が幅を利かせ個人の店は苦戦しているが「地域に密着し続け、信頼され気軽に来てもらえる店にしたい」。輪木さんはこう締めくくった。

風船でみんなが一つに トンちゃんパワーに驚く



志津南市民センター(公民館)の家庭教育支援講座「バルーン

子どもたちにもトンちゃんパワー一参加しました。トンちゃんこと石井裕子さんが3人の仲間と大きな赤い鼻と可愛い衣装で登場すると大きな歓声があがりました。

10月5日、同センターで行われ、未就園児と母親高年齢者の三世代百二人が参加しました。

をキャッチしたり白紙の本から絵本を作ったりし、参加者を驚かせました。トンちゃん一座は4年前に夫婦二組の4人で結成、ケアリング・クラウン(ヒエロ)・「ミニニケーション(ヒエロ)の格好をして病院などで行う対話ボランティア活動」を続けており、子ども病院やホスピスで患者を勇気づけています。



地球環境の保いと難しいように思います。そこで私もと、面倒くさいと思いつつも、思いながらも実行してみると、必要なものだけを買う意識になるから取り組もうと、最近ではスーパー等でレジ袋の有料化が試みられる一方、マイバッグや買い物かごを持参する人が増えていると聞きます。

マイバッグ

その上で、買い物バッグを好きなデザインにすることでファッション性が高まるなどの喜びも出て、最近では家庭で出来る環境対策を進める一人となつていきます。日本では年間約305億枚のレジ袋が使用されているといわれ、国民1人が一日一枚程度使っている勘定で、家庭から出るプラスチックごみの15%を占めているそうです。

お店でもレジ袋を薄く軽量化するなど環境に配慮する取り組みが進められています。売る側、買う側双方が努力しな

「若草2丁目・エ」